

体外診断用医薬品

wALT

ディメンション用
アラニンアミノトランスフェラーゼキット

L タイプ **wALT・J2**

(JSCC 標準化対応)

〔全般的な注意〕

- (1) 本製品は体外診断用であり、それ以外の目的に使用しないで下さい。
- (2) この電子化された添付文書に記載された使用方法に従って使用して下さい。記載された使用方法及び使用目的以外での使用については、測定値の信頼性を保証しかねます。
- (3) 測定機器は取扱説明書に従い適切な条件下で使用して下さい。なお、詳細については医療機器製造販売元にお問い合わせ下さい。
- (4) 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果と併せて担当医師が総合的に判断して下さい。

〔形状・構造等(キットの構成)〕

- 1 カートリッジの容量 (68 テスト)
- (1) 基質酵素液(R1：コンパートメント 1-4) 4mL×4
- トリス緩衝液
L-アラニン
β-ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド還元型(NADH) (酵母由来)
乳酸脱水素酵素(LD) (微生物由来)
- (2) α-KG 溶液(R2：コンパートメント 5-6) 4mL×2
- トリス緩衝液
L-アラニン
α-ケトグルタル酸(α-KG)
- 注) 試薬封入部をコンパートメントと呼び、カートリッジの幅の広い方から 1 として番号を付けています。

〔使用目的〕

血清中又は血漿中のアラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)の測定

〔測定原理〕

試料中の ALT の作用により、L-アラニンと α-ケトグルタル酸(α-KG)は、グルタミン酸とピルビン酸に変化します。ピルビン酸は、β-ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド還元型(NADH)の存在下で乳酸脱水素酵素(LD)の作用により、乳酸に変化します。このとき NADH は、β-ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド酸化型(NAD)に酸化され 340nm の吸光度が減少します。この NADH の減少速度を測定することにより試料中の ALT 活性値を求めます。



〔操作上の注意〕

- (1) 測定試料の性質、採取法
 - (イ) 採取後の検体は速やかに測定して下さい。
 - (ロ) 抗凝固剤のヘパリン、クエン酸塩、シュウ酸塩、EDTA 及び解糖阻止剤のフッ化ナトリウムは、通常使用量では測定値に影響を与えません。
- (2) 妨害物質・妨害薬剤
 - (イ) 溶血、アスコルビン酸、ビリルビンは測定値にほとんど影響を与えません。

〔用法・用量(操作方法)〕

- (1) 試薬の調製方法

基質酵素液及び α-KG 溶液はそのまま使用して下さい。

装置に試薬カートリッジを装填した後、シールされた状態で 2～10℃保存で 30 日間安定です。

シール開封後、2～10℃保存で基質酵素液は 8 日以内、α-KG 溶液は 16 日以内に使用して下さい。

カートリッジの取扱いについては〈使用上の注意〉を参照して下さい。

** (2) 必要な器具・器材・試料等

自動分析装置：ディスクリット方式臨床化学自動分析装置 ディメンション
検量用試料：酵素キャリブレーター(別売品)又は酵素キャリブレーター L(別売品)
使用に際しては、酵素キャリブレーター、酵素キャリブレーター L の現品説明書を参照して下さい。

(3) 測定法

〈ディメンションへの適応〉

- (1) 測定設定条件
 - ・検体量：10μL
 - ・第一試薬(R1)量：200μL
 - ・第二試薬(R2)量：100μL
 - ・希釈液量：50μL
 - ・測定温度：37℃
 - ・測定法：2 波長レート法
 - ・波長：主波長 340nm 及び副波長 540nm
 - ・濃度単位：U/L

(2) 操作法

- ① 本品をディスクリット方式臨床化学自動分析装置 ディメンションの所定位置に装填します。
- ② 検体(血清、血漿)又は検量用試料を装置専用サンプルカップに分注します。
- ③ 装置上のキーボードを用いて、患者検体 ID 及び検査項目を入力します。
- ④ サンプルカップを指定された位置に装填し、操作ボタンを押しますと自動的に分析が下記手順で行われます。
- ⑤ 第一試薬(200μL)、精製水(30μL)及び検体(10μL)がキューベット中に分注混和され、37℃で一定時間インキュベーションされます。
- ⑥ 次に第二試薬(100μL)及び精製水(20μL)が分注混和され、反応液中の NADH の吸光度変化量が 2 波長(340 及び 540nm)でレート測定されます。
- ⑦ 測定された吸光度変化量は活性値(U/L)に変換され、測定結果がプリントアウトされます。

注) 手入力で試薬情報を入力する際には、試薬カートリッジ本体のラベルのみに記載されたディメンション(Dim.)のロット番号を使用して下さい。

〔測定結果の判定法〕

参考正常値⁽⁴⁾ 4～44U/L(37℃)

〔性能〕

〈性能〉

(1) 感度

- (イ) 生理食塩液を試料として操作した場合の吸光度変化は、0.009(ΔE/min)以下です。
- (ロ) 特定活性の管理血清(ALT 100U/L, 37℃)を試料として操作した場合の吸光度変化は、0.01～0.04(ΔE/min)の範囲内です。

(2) 正確性

既知活性の検体を測定するとき、既知活性の±9%以内にあります。

(3) 同時再現性

同一検体を 5 回同時に測定するとき、測定値の CV 値は 10%以下です。

(4) 測定範囲

ALT 3.7～1000U/L です。(ディメンション RxL による)

〈較正用の基準物質(標準物質)〉

JCCLS 認証標準物質 常用参照標準物質：JSCC 常用酵素

〔使用上又は取扱い上の注意〕

〈取扱い上(危険防止)の注意〉

- (1) 試薬が誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流し、必要があれば医師の手当等を受けて下さい。

〈使用上の注意〉

- (1) 試薬は指定された条件で保管し、使用期限を過ぎたものは使用しないで下さい。
- (2) 誤って凍結させた試薬は使用しないで下さい。正しい結果が得られないことがあります。
- (3) カートリッジは必ず外箱に入れ、指定の条件で保存して下さい。
- (4) 本品中の容器は他の目的に転用しないで下さい。
- (5) 本操作での測定単位は、国際単位(U/L, 37℃＝IU/L, 37℃)です。37℃において、1 分間に 1μmol の基質を変化させる酵素活性が 1 国際単位となります。
- ** (6) 酵素キャリブレーター、酵素キャリブレーター L の表示値を変更したり、酵素キャリブレーター、酵素キャリブレーター L を使用して得られたファクターを補正したり、あるいは、得られた測定値を補正した場合には、JSCC 標準化対応ができませんので、注意して下さい。

〈廃棄上の注意〉

- (1) 廃棄に際しては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び排水基準に従って適切に処理して下さい。
- (2) 検体と接触した試薬及び試薬容器等は、感染の危険性があるものとして処理して下さい。
- (3) 基質酵素液は、防腐剤としてアジ化ナトリウムを 0.1%含有しています。アジ化ナトリウムは、銅や鉛などの重金属と結合してアジ化物を形成します。重金属のアジ化物は、乾燥状態で衝撃により爆発する性質がありますので、排水後は、排水管に残留しないように十分量の水で洗い流して下さい。

〔貯蔵方法・有効期間〕

	(貯蔵方法)	(有効期間)
L タイプワコー ALT・J2	2～10℃保存	製造後 10 か月間

〔包装単位〕

(コード番号)	(品名)	(包装)
416－88601	L タイプワコー ALT・J2	8×68 テスト

〔主要文献〕

- (1) 日本臨床化学会：臨床化学，**18**，250-262(1989).
(2) 日本臨床化学会 酵素専門委員会：臨床化学，**23**，335-340(1994).
(3) 日本臨床化学会 学術連絡委員会：臨床化学，**25**，135-148(1996).
(4) 桑 克彦：医学検査，**42** (2)，188-193(1993).

*〔問い合わせ先〕

富士フイルム 和光純薬株式会社
臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目 4 番 1 号
Tel：03-3270-9134(ダイヤルイン)

**〔別 売〕

(コード番号)	(品名)	(包装)
416－57191	酵素キャリブレーター	3mL 用×4
	〔表示値はロットごとに異なり〕 〔現品説明書に記載しています〕	
463－93001	酵素キャリブレーターL	1mL×4
	〔表示値はロットごとに異なり〕 〔現品説明書に記載しています〕	

*〔販売元〕

シーメンスヘルスケア・
ダイアグノスティクス株式会社

東京都品川区大崎1－11－1 ゲートシティ大崎ウエストタワー

製造販売元
富士フイルム 和光純薬株式会社
大阪府中央区道修町三丁目 1 番 2 号

25.06.13K09